

地域みんなで学校応援団  
 これまで発行したCS通信や学校運営協議会に  
 関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》⇒



## 3年目に入ったコミュニティ・スクールの現状と課題

### 訓子府のコミュニティ・スクール(CS:学校運営協議会)は、最先端を走る!

全道の公立学校のCS実施率は27.2%、地域学校協働本部(スクールサポート事業)を整備した学校は60.3%、このうち、CSとスクールサポート事業を一緒に整備している学校は23%、全国の市町村のうち、CSコーディネーターを配置している割合は83.5%となっています。こども園から高校まで一体化した本町のCSは、全道、全国的にもあまり例がありません。進んだ取り組みをしていることで評価を得ています。

#### 「CSに大切な3つの機能」

文部科学省CSマイスター・北海道科学大学教授 出口寿久氏の講演から

CS(学校運営協議会)は、学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進するものです。そのためには、3つの機能を大切にすることが必要です。



- 1「熟議」～多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねることで、互いの立場や果たすべき役割が深まり、解決策が洗練され、納得して自分たちの役割を果たすことができる。
- 2「協働」～熟議で共有したビジョンや目標の達成に向けて、力を合わせて「子どもたちのため」に取り組む。
- 3「マネジメント」～中核となる学校は、校長のリーダーシップの下、マネジメント力を強化することが必要。

訓子府町のCSは、こども園から高校まで一体となった組織ですが、その中核となるのは各学校です。学校と地域住民が目標やビジョンを共有するには、学校のことを知ることです。この「CS通信」では、各学校の取り組みを詳細にお伝えすることができません。こども園から高校まで、各学校にはホームページがあり、学校だより等が掲載されていますので、是非ご覧ください。(裏面のQRコードをご利用ください。)

## 「訓子府学」 訓高生が訓中で活動報告 農業の魅力伝える



12月15日、ふるさと教育「訓子府学」(3年生の選択科目「北海道の自然」)を学んだ訓高生5人が、訓中で活動報告を行いました。

作物の育て方から調理方法まで、プレゼンテーションソフトを使い、写真やクイズを交えながら、農業の魅力を中学生に伝えました。

“知っているようで、間違っって覚えていた?”

Q:「ビートは何の仲間?」 A:ほうれん草 B:大根 正解はA

Q:「玉ねぎは、どの部分を食べている?」 A:葉 B:茎 C:根 正解はA

Q:「メロンは、果物、それとも、野菜?」 A:野菜 B:果物 正解はA

さすが訓子府の子どもたちです。全問正解でした。

#### 《訓高生の感想》

- ・初めて訓中の生徒さんと一緒にふるさと教育で農業に触れました。楽しみにしていた調理実習など、コロナ禍で活動が制約されましたが、中学校で活動報告ができ、交流を通してよい経験になりました。
- ・自分たちで育てた野菜は、より一層美味しく感じ、農業を身近に感じることができました。
- ・中学生にわかりやすくまとめることに苦労しました。もっと多くの人に伝えたいと思いました。
- ・ホクレン実証農場では、ドローンや無人トラクターを使ったコスト削減に向けた未来の農業について学んだことで農業に対する意識が変わりました。
- ・一から育てた食材を使いみんなで調理できればよかったです。来年はみんなで調理実習ができることを願っています。私は、卒業後は調理専門学校に進学し、日本料理の職人を目指します。



2021(令和3)年がスタートしました。訓子府学は2年目を迎えます。今年は、訓高と訓中だけでなく、こども園や小学校との交流の輪を広げていきたいと考えていますが、コロナの収束を願うばかりです。

# 「ながら見守り」みんなの輪広がっています！



【駐在所のパトカー】



【郵便局の営業車】



【社会福祉協議会の公用車】



【個人車】



【交通安全指導車】



【役場の公用車】



【スクールバス】



## 町民みんなで子どもたちを見守り・育てましょう！

冬季間は、子どもたちの周りには、軒下のつららや道路の雪山、凍結路面など、危険がいっぱいです。買い物や散歩の途中、家の前の除雪をしているときなど、危ないことをしている子どもを見かけたら、遠慮なく注意をしてください。

\*車用「ながら見守りカード」の問い合わせは、教育委員会まで



## スクールサポート・ボランティア募集

CSのもう一つの事業にスクールサポート（地域学校協働本部）事業があります。地域と学校が目標を共有化して行う双方向の「連携・協働」型の活動の充実に向けて、取組を推進しています。

具体的な活動として、読み聞かせ活動、スキー学習のお手伝い、樹木の剪定、農作業の指導など、地域の方にボランティアで行ってもらっています。しかし、スタッフの高齢化が問題になっています。特に手薄なのはスポーツ関係のボランティアスタッフです。随時募集していますので、ご協力をお願いします。

**\*12月24日 サンタクロースをこども園に派遣→**



\*スクールサポートの問い合わせは、教育委員管理課（47-2122）牧野まで

サンタクロースの派遣もやっています。

\*\*\***学校のホームページをご覧ください**\*\*\*

コミュニティ・スクール：学校運営協議会は、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくものです。そのためには、まず学校のことを知ることで。

各校のホームページには、経営方針や沿革、児童生徒の活動の様子その他に4月からの学校便りや学校評価（PDF）で掲載されています。下記のQRコードから入ることができますので、是非ご覧ください。

各学校のHPから、これまでの学校便りを見ることができます。⇒					
	こども園	居武士小	訓子府小	訓子府中	訓子府高校

